

# ねっと

- 2 市政運営方針
- 4 地域情報アプリ開始
- 6 令和6年度国保料
- 7 能登半島地震支援状況
- 8 あやべ観光デジタルフォトコンクール



## 卒業、思い出を胸に

3月1日、岡町の綾部高等学校で卒業式が行われました。272人の卒業生が涙と笑顔で3年間の思い出が詰まった学び舎に別れを告げ、4月からの新生活に期待を膨らませました。

住み続けられるまち綾部へ

# 市政運営方針

令和6年度の予算などを審議する市議会3月定例会が、2月26日に開会。山崎善也市長はこの日、新年度の市政運営方針を述べました。



所信を述べる山崎市長＝2月26日、本会議で

## 能登半島地震を教訓に

令和6年、年明け早々、大規模な自然災害や痛ましい事故が相次ぎました。亡くなった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。本市は発災直後に京都府緊急消防援助隊として職員を派遣。その後も避難所支援要員や給水対応職員、保健師、管理栄養士などの応援要請にも応じています。

本市は、多くの集落が谷筋にあり、幹線道路は1本、木造家屋も多く、高齢化も進んでいる地域がほとんどで、能登半島の地震被害は他人事ではありません。インフラ整備や安全・安心なまちづくりの重要性を改めて認識しました。

## 社会情勢を注視し施策を推進

国際情勢はロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルとハマスの武力衝突など、依然として混乱を深めています。一方、国内では、昨年は30年ぶりの高い買上げ水準となったものの、国際的に原材料価格が上昇。さらに、円安の影響などから、エネルギー・食品等の価格が上昇し、経済を取り巻く環境には厳しさが増しています。

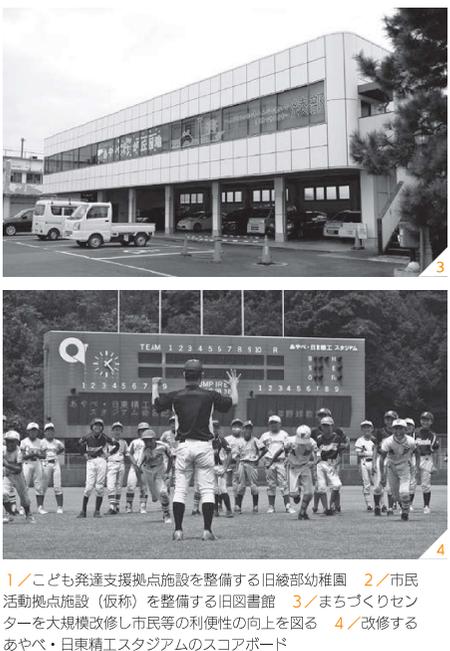
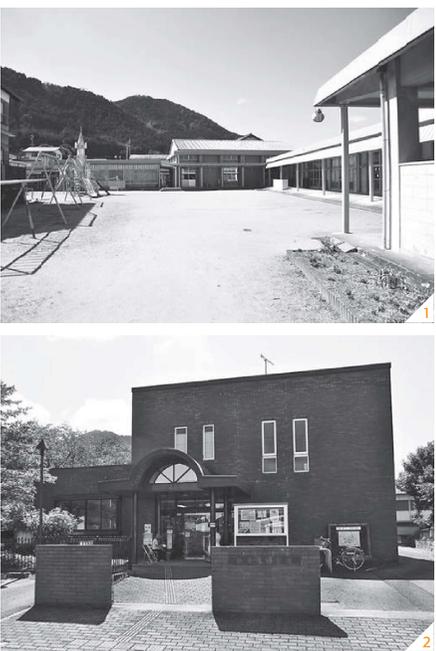


能登半島地震で被災した石川県珠洲市で救出活動に当たる市職員

また、地球温暖化の影響により、全国各地で自然災害が局地化、激甚化しています。その状況への危機感を強め、脱炭素社会実現への取り組みを進めていかねばなりません。

## 新たな部を設置し「子ども政策を強化

令和6年度当初予算は、引き続き「医・職・住・教育・情報発信」をキーワードに、各分野の事業を展開します。また、予測不能な今後の災害に備えるため、市民生活の安全・安心の確保につながる施策も講じています。



1/子ども発達支援拠点施設を整備する旧綾部幼稚園 2/市民活動拠点施設（仮称）を整備する旧図書館 3/まちづくりセンターを大規模改修し市民等の利便性の向上を図る 4/改修するあやべ・日東精工スタジアムのスコアボード

主なハード事業として、西部地域振興センター・消防防災拠点施設の新設、旧綾部幼稚園を活用した子ども発達支援拠点施設、旧市民センター跡地の新都市公園、旧図書館を活用した市民活動拠点施設（仮称）、新たな子育て拠点となることも家庭センターの整備を着実に進めます。さらにまちづくりセンター等の庁舎改修や、あやべ・日東精工スタジアムのスコアボードの改修などにも着手します。

また、国が提唱する「こともまんなな社会」の実現に向け、新たに部を設置し組織体制を強化。少子化対策や子ども政策のさらなる推進に努めます。さらに、ジェンダーギャップの解消やカーボンニュートラルの実現に向けたグリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）も進めます。

## 複雑多岐にわたる行政課題に対応

現代は、VUCA（ブーカ）、すなわち「不確実性」の時代とも言われ、経済社会構造の変化や住民ニーズ・価値観の多様化、災害の局地化、激甚化など、複雑かつ多岐にわたって行政課題が山積。「想定外を想定」しながらも、行政と

昨年12月末に国立社会保障・人口問題研究所が公表した2050年の「地域別将来推計人口」によると、本市の人口は現在の約3分の2の2万624人。65歳以上の人口割合は45・5割になるとされています。移住・定住施策や少子化対策など人口減少の「緩和策」を推進しながら、人口減少社会への「適応策」に取り組むことが我々に課された責務です。

本市の貴重な財産である「豊かな自然」と「人々の心の温かさや地域を愛する熱意」を生かし、将来都市像である「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち：綾部」の実現に向けて「オール綾部」で取り組みます。

## アプリの主な使い方

### メールマガジンの確認方法



- ①お知らせの中から1つをタップ（指で触れる）すると詳細が表示されます
- ②「音声再生する」をタップすると、内容が読み上げられます

### メニュー画面のアイコンから知りたい情報を手軽に入手



地図上に避難所やAEDの場所などが表示されます。ピン（地図上のマーク）をタップすると、詳しい情報や現在地から避難所へのルートが分かります（外部リンク）

市ホームページや市ホームページに掲載しているあやバス情報、市公式Facebook・LINEへアクセスできます。ごみ出しガイド「5374（ゴミナシ.jp）」と連携し、地区ごとのごみの収集日と分別方法の確認も可能です

広報あやペ「ねっと」やあやペ市議会だよりなどをPDFファイルで閲覧できます。

ハザードマップのPDFファイルのほか、気象庁のホームページに公開されている気象状況などを閲覧できます

※アイコンの名称や配置等は変わる場合があります

### 4/1～登録・利用開始！ アプリのダウンロードはこちらから

アプリを利用するには、スマートフォンにアプリ版の「ライブビジョン」をインストールする必要があります。各アプリストアで「ライブビジョン」と検索するか、下記QRコードからダウンロードしてください。ダウンロードと利用に費用はかかりませんが、通信料は自己負担です。市外の人も利用できます。

なお、アプリの登録・利用ができるようになるのは、4月1日からです。登録方法の詳細は、あらためて市ホームページなどでお知らせします。詳しくは、行政デジタル推進課 ☎(42)4223へ。



市は4月1日から、スマートフォンで行政や防災、自治会等の情報をひとまとめに受信・閲覧できるアプリ「綾部市地域情報アプリライフビジョン」（以下、アプリ）の運用を開始します。誰もが簡単に必要な情報を受け取れるとともに、災害時の迅速な情報発信につながります。

**メルマガ利用者も活用を**  
アプリ開始後も、現在の市メールマガジン「あやペーる」や、各地区自治会連合会が運用するメールマガジンは利用でき、行政情報、地域のお梅やみといったお知らせはこれまでどおり登録しているアドレスにも届きます。アプリは、これらのメールマガジンの情報に加え、さらに多くの機能を備えています。新しい情報収集手段として、ぜひご活用ください。

**さまざまな情報を入手可能**  
アプリでは、市や各地区自治会連合会が配信するメールマガジンと同様の内容を文字と音声で確認できます。避難情報発令時には画面が切り替わり、警戒レベルが一目で分かるようになります。  
また、避難所の位置や開設状況、避難所への経路、AEDの設置場所などを地図上で確認できるほか、ハザードマップや土砂災害の危険度等の防災情報に加え▽市ホームページ▽広報あやペ「ねっと」▽市公式Facebook▽5374.jp▽あやバス情報なども閲覧可能です。

# 12年ぶりに引き上げへ

市は2月5日、令和6年度の国民健康保険(以下、国保)の運営について、市国民健康保険運営協議会(四方道人会長)に諮問し、答申を受けました。市はこの内容を尊重し、関連予算案を市議会3月定例会に提案しています。

## 準備基金が大幅減

今回の答申の特徴は「保険料を引き上げざるを得ない状況は理解する」と示されたこと。市が諮問していた保険料の引き上げが答申にも盛り込まれ「やむを得ない」としています。

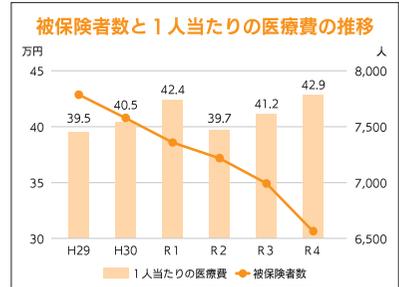


四方道人会長=写真左=から答申を受ける山崎市長

引き上げの理由は、国準備基金(貯金)が少なくなったことにある。国保とは、安心して医療を受けられるよう、加入者が保険料を出し合って医療費負担を軽減する制度です。近年は被保険者数が減る一方、高齢化や医療技術の高度化で1人当たりの医療費は増加しグラフ①。厳しい財政運営が続いていますが、基金を活用して収入を補填し、加入者の負担軽減を図るため平成24年度以降11年連続で保険料を据え置いてきました。

その結果、基金残高は減り続け、令和4年度決算では約2億6000万円まで減少。本年度末の基金残高見込みは約1億6000万円となり、保険料を引き上げない場

<グラフ①>

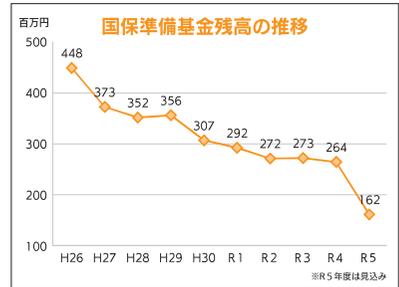


合、令和6年度末には枯渇する見込みですグラフ②。国保を安定的に運営するには一定の基金を確保する必要があるため、加入者に負担を求めざるを得ない状況になっていきます。

## 急激な負担増に配慮

現在の医療費水準に見合う保険料額にするには、約27割の引き上げが必要になります。これに対し、物価高騰などの社会情勢を踏まえ加入者負担の急増に配慮。激変緩和措置として、基金を取り崩しながら複数年にかけて段階的に保険料を引き上げ、医療費水準に応じた額にする考えです。

<グラフ②>



これにより、令和6年度の1人当たりの保険料の平均年額は8万9901円と、昨年比17・31割増になります。保険料の内訳は、医療給付費分が5万8201円(同比16・15割増)、後期高齢者支援金分が2万3265円(同比22・4割増)、40・64歳が対象の介護納付金分が2万7865円(同比9・4割増)です。市は今後も、歳出削減と保険料取納率の向上などに取り組み、健全な事業運営に努めます。将来にわたって安心して国保制度を利用できるように、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、市民・国保課 ☎(42)4246へ。

# 令和6年能登半島地震被災地への支援状況

1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援のため、現地へ本市職員を派遣しています。今後も被災地のニーズに応じて、復旧・復興に向けた支援を行います。

## 本市の主な取り組み (令和6年3月5日現在)

- 緊急消防援助隊 (1月1~23日)**  
緊急消防援助隊京都府大隊として消防職員31人を石川県珠洲市へ派遣。救出活動などに従事しました。
- 避難所運営支援 (1月22日~2月26日)**  
市職員7人を七尾市に派遣。支援物資の受け渡しや簡易トイレへの給水などといった避難所運営を支援したほか、市役所で災証明の発行を補助しました=写真①②③。3月にも2人の派遣が決定しています。
- 給水支援 (1月31日~2月5日)**  
市職員2人と給水車を能登町に派遣し、給水活動を行いました。3月にも2人派遣します。
- 栄養管理支援 (2月9~15日)**  
管理栄養士1人を珠洲市へ派遣。自衛隊と炊き出しの調整を行うなど、避難者や要配慮者等の栄養管理を支援しました=写真④。
- 健康管理支援 (2月25日~3月2日)**  
保健師1人を珠洲市へ派遣。避難所を巡回し健康観察を行うなど、要配慮者等の健康・衛生管理を支援しました=写真⑤。



## 人手不足の正体



人手不足が深刻だ。賃金と比較的低い職種や3K(きつい、汚い、危険)と称される労働条件の厳しい業種では指摘されて久しいが、最近ではほとんどの業界で働き手の確保に悩む大きな社会問題となっている。行政の分野でも技師は慢性的に不足しており、近時は教員の確保も憚らない。その原因として働き方改革の影響とか、依然として残る様々な規制が取り沙汰されているが、「労働人口」の推移をみると人手不足になるのは一目瞭然である。

すなわち、後期高齢者になって労働市場から退場せんとする、いわゆる戦後ベビーブーマー世代は年に約200万人。一方、新たな労働人口として二十歳を迎える数は100万人強で、その差100万人。日本の労働市場は年100万人単位で縮小しているのである。ちなみに今年の出生数予測は80万人を切るのとこと、上向き気配はない。

これに対し今までは何とか高齢者と女性の力で補ってきたが、それも限界に近く、そのため出入国管理法を改正するなどして外国人労働者を増やしているのが昨今の実状で、本市でも街なかでそれと思しき人を見かける機会が増えていく。しかしそれとて日本全体で数十万人程度に過ぎず、前述の年100万人規模の縮小を埋めるにはほど遠い水準である。

となると、モノやサービスで従来と同じ質と量を提供することは困難となり、対策としては「やり方」を変えるか、生産場所を海外に移すかの選択が求められるが、「技術立国」日本としては人口知能(AI)やロボットを駆使してデジタル変革(DX)で省力化を進めるしかなかろう。人手不足の正体が見える化した限りは、市役所業務においても住民サービスや内部管理、そして国や府とのシステム統合へのDX導入が待ったなしだ。

山崎善也(綾部市長)

## 不審者から子どもを守る方法学ぶ

市、市教育委員会、水夢（山本雄史社長）は2月20日、青野町のあやべ健康プラザで、子どもの安全確保を目的とした合同の防犯訓練を実施しました。綾部警察署生活安全課から講師を招き、あやっこひろばと図書館、同プラザの職員14人が、子どもを狙う犯罪の傾向や対処方法を学んだほか、不審者が現れる場面を想定した実演などを行いました。山本社長は「あやテラスがオープンして両施設間の子どもの行き来が多くなっている。連携を取りながら子どもたちの安全・安心を守っていきたい」と話しました。



## 綾部の茶 2年連続最高賞に

昨年7月に宇治市で行われた「第41回京都府茶品評会」で高い評価を受けた生産者の褒章授与式が2月15日、同市で開催。綾部緑茶生産組合の福井ヒデ子さんが、かぶせ茶の部門で最高賞となる1等1席（近畿農政局長賞）を受賞したほか、審査成績が最優秀の市町村（産地）に授与される知事優勝旗が2年連続で本市に手渡されました。

## 山家地区で交通空白地有償運送事業始まる

3月1日、山家地区内で交通空白地有償運送事業「山家タクシー（通称：山タク）」の運行が始まり、鷹栖町の基幹集落センターで出発式が行われました。事業の実施主体である山家みらい（波多野隆史理事長）の関係者らが集まり運行開始を祝いました。同事業は、公共交通が十分でない地域で、地域の組織やNPO団体等が自家用車などを使い、営利とは認められない範囲の運賃で運行する制度。「山タク」は、於与岐町の「みせんバス」、口上林地区の「なかやま号」、奥上林地区の「やまびこ号」に続き、市内4例目になります。



## 市立病院に新任医師



青野町の市立病院（高升正彦院長）に3月1日、泌尿器科の宇都宮匡徳医師が新たに赴任しました。着任に当たり、宇都宮医師は「鹿児島出身ということもあり、自然豊かな綾部市は馴染みやすいのではないかと考えています。少しでも皆さんのお役に立てよう一生懸命努めてまいりますので、よろしくお願いいたします」と話しました。

令和5年度 入賞作品決定

# あやべ観光デジタル フォトコンクール

## 特選



綾部商工会議所賞  
和傘イルミネーション  
杉野健一（福知山市）



綾部市文化協会賞  
水無月さんで逢いましょう  
築山忠則（京丹波町）



京都新聞賞  
美しい森  
畑田幸代子（福知山市）



大賞  
綾部市長賞  
ふるさとへの山に向かいて言うことなし：  
松岡秀雄（舞鶴市）



あやべ市民新聞社賞  
神秘の森  
朝子政司（野田町）



京都府観光連盟賞  
清流にあそぶ  
福井齋（大津市）

市内外から233点集まる  
本市の豊かな自然や文化などの魅力の発信を目的に開催する同コンクール。応募作品233点から大賞1点、特選5点、入選10点が選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです（順不同、敬称略）。  
浅巻治子（神宮寺町）▽阿比留健次（西町三丁目）▽上田浩史（味方町）▽高橋摩也斗（新庄町）▽中山茂樹（上野町）▽野々垣泰輝（並松町）▽山口健治（青野町）▽阪田清（舞鶴市）▽杉尾茂樹（南丹市）▽桑原秀樹（滋賀県）  
入選作品は3月21日（木）から4月7日（日）まで、あやべ観光案内所（駅前通り）で展示。以降、京都北部信用金庫西町支店（西町二丁目）、天文館（里町）、あやべ温泉（陸寄町）を約1カ月ごとに巡回展示します。

市観光協会（平野正明会長）は、デジタルフォトコンクールを開催。本市の観光を積極的に推進するため、「輝くあやべ・再発見」をテーマに観光写真を募集し、このほど入賞者を発表しました。大賞は、五津台町で撮影した、松岡秀雄さん（舞鶴市）の作品です。



私たちの心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の元気のヒミツや日々を楽しく暮らしつつを探ります。

## 水源の里・市野瀬

### 自然薯で地域の活性化を図る

市野瀬は平成24年7月、自然薯栽培で地域の活性化を図りUターン者の定住促進を目指して水源の里の指定を受けました。

市野瀬では、昔から地元の山で自然薯を採ることが盛んでした。



じねんじよまつりは毎年12月にあやべ温泉で開催。自然薯の人気は高く早々に売り切れることも



市の公式動画旬をお届け！「撮れたてあやべ」の250を超える動画の中で、再生数1位は市野瀬の自然薯栽培

この自然薯を地域の特産品として商品化するため、畑での栽培に挑戦したのは今から30年以上前。栽培方法が確立されていないことや獣害などさまざまな苦労がありました。現在では改良を重ね、年間500本を超える収穫があります。収穫した自然薯は「じねんじよまつり」で販売し、活動の貴重な財源になっています。市野瀬はこのほか、景観事業にも注力。サクラを植樹したりスイセンとヒマワリを街道に植えたりして、集落を訪れた人を楽しませる取り組みを継続しています。中嶋茂樹代表は、「自然薯のオーナー制度に挑戦し、都会から人が頻りに訪れる仕組みを作り、集落に新しい風を吹かせたい」と将来の展望を語りました。

## 環境コラム

### 使用済みペットボトルを新たなペットボトルに

市は1月10日、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結し本紙2月号9面参照。使用済みペットボトルを新しいペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」を4月1日から開始し、持続可能な循環型社会の実現を目指します。

### 二酸化炭素の発生量を6割抑制

4月以降は、市が収集した年間約70万本の使用済みペットボトルを、遠東石塚グリーンペットが再原料化し、コカ・コーラポトラー



ズジャパンが自社のペットボトルに作り直します。これにより、1からペットボトルを製造するよりも、約60%もの二酸化炭素の発生量を削減できます。

より効率的に水平リサイクルを促進するには、ペットボトルの適切な排出が必要です。使い終わったペットボトルは水ですすぎ、ふたやラベルを取ってから指定収集日に出しましょう。ただし、汚れが取れない場合は「燃やして処理するごみ」として処理してください。

### 環境啓発も実施

市は2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする、ゼロカーボンシティの実現を目指しています。今後は協定に基づき、子どもたちへの環境学習のほか、イベントなどでの環境啓発も実施する予定です。市民、事業者、行政が一体となり、「ボトルtoボトル」の取り組みを進めていきましょう。

## シリーズ 人権を考える

### ⑬ 令和5年度綾部市全職員人権研修

「部落差別の現在 差別のしくみから考える」

関西大学社会学部教授 内田 龍史さん

### 多数派の当たり前が差別へ

市は2月8日、青野町のあやべテラス・ホールで市役所の全職員を対象に入権研修を実施しました。

講師の内田さんはまず、差別のメカニズムを解説。「社会の当たり前は多数派を前提につくられている」とした上で、差別とは「少数派を『普通ではない、変わった人たち』などともなして遠ざけ、



### 人権や反差別の発信者に

多数派にとって差別は見えにくい構造になっているため「同和問題(部落差別)」についてよく知らない人は、誤った情報を使うのみにして一般化し、無意識に広げてしまう危険性がある」と内田さんは指摘。インターネット上で被差別部落へのマイナスイメージが拡散されている現状を取り上げ、差別や偏見を防ぐには同和問題(部落差別)を正しく理解する学が必要と訴えました。最後に「二人一人が人権や反差別の発信者として、差別のないより良い社会にしていけるには何ができるかを考えましょう」とメッセージを送り、講演を締めくくりました。



## 今月の手話

### コミュニケーション



両手の5指を「C」の形にしてみ合わせて前後に交互に動かす

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

## 資料館だより

### 綾部市資料館春季企画展

## 上林城と藤懸陣屋

中上林地区にある上林城に関する昔の発掘調査成果や藤懸陣屋に関する資料を展示します。

日時：3月26日(火)～5月19日(日)  
午前9時～午後5時(月曜日休館)

場所：資料館(里町)

入館料：無料

展示解説：3月30日(土)、5月3日(金・祝)午前10時～

上林城跡の発掘調査担当者であった中村孝行さんによる上林城についての説明と、学芸員による展示解説を行います(30分程度)。



藤懸陣屋の絵図(上林権寺(八津合町)所蔵)

### ＜問い合わせ＞

社会教育課文化財担当  
☎(42)4328、☎(43)2134  
資料館(土・日曜日、祝日のみ)  
☎(43)1366

通学定期券補助

市鉄道利用促進事業実行委員会は、JRや京都丹後鉄道で市外へ通学している市内在住の大学生と専門学生、予備校生等に、通学定期券購入代金を補助します。補助率／3割(年間上限は5万円)。対象／令和5年10月1日～令和6年3月31日に期限切れとなる定期券。申請期間／4月1日～6月28日(金)。申請／申請書を利用済みの定期券(写し可)、在学証明書(学生証の写し可)、住民票を添えて、市民協働課へ提出してください。

母子家庭奨学金の支給

乳幼児から高校生までの子どもを養育している母子家庭の母などに、奨学金を支給します。年間支給額／乳幼児1万1000円、小学生2万1500円

令和6年度国民年金保険料

令和6年度の国民年金保険料は、月額16980円です。これに加えて400円の付加保険料を納めることで、将来受給する年金額が増やせます。1年分の納付書は、4月上旬に日本年金機構から郵送されます。金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局含む)かコンビニ

ニエンスストアで期限までに納めてください。納付方法は、現金納付のほか、口座振替やクレジットカード、スマホアプリを利用したキャッシュレス決済があります。

保険料は、毎月納付のほか、6カ月分や1年度分などまとめて前納(前払い)することもできます。前納すると割引が受けられます。経済的理由などにより保険料の納付が困難な人には保険料を免除(猶予)する制度が、学生には学生納付特例制度が設けられています。これらの制度には申請者の前年中の所得(1月分から6月分については前々年中の所得)などに制限があります。申請は市民・国保課へ、基礎年金番号が分かるもの、本人確認書類のほか、離職した人は離職票か雇用保険受給資格者証、学生は学生証か在学証明書(4月1日以降の証明)などを持参してください。

彫刻体験コース

氏ゆかりの安国寺周辺の散策と仏像彫刻を体験する約2時間。日時／5月23日(木)10時～14時20分ごろ。集合場所／安国寺駐車場(安国寺町)。参加費／1500円。最小催行人数／5人。定員／13人。共通／雨天中止。昼食や飲み物は各自持参してください。トレーニング等にふさわしい服装で参加ください。申し込み／開催日の3日前の17時までに観光協会へ。

海上保安官

海上保安庁は、令和7年4月1日入校の海上保安官(初任科)採用試験を実施します。受験資格／試験年度の4月1日時点で30歳未満の大学卒業生(令和7年3月までの卒業見込み含む)。申し込み期間／3月25日(月)まで。第1次試験／5月26日(日)。試験場／舞鶴海上保安部管理課

日ごろの悩みなどを相談しませんか

綾部市精神保健家族会は「こころの健康に関する家族相談会」を開催します。同じ立場の家族や京都府こころの健康推進員が、精神障害者のいる家族が持つ日ごろの悩みなどの相談に乗ります。日時／4月16日(火)13時30分～15時30分。場所／あやべ・日東精工アリーナ第2会議室(市民センター、西町三丁目)。対象／綾部市在住の人。同協会会長 永井智子 ☎080(1)4588759 障害者支援課 ☎(42)4318

出張がん個別相談

府がん総合相談支援センターは、がんに関わる出張相談を行います。日時／4月18日(木)13時30分～15時30分。場所／府中丹東保健所(舞鶴市)。相談員／保健師か看護師。相談料／無料。申し込み／前日の16時までに府がん総合相談支援センターへ。その他／月々金曜日

福祉バスの予約受付

市は、無料で貸し出す福祉バスの予約を受け付けます。対象／高齢者や障害者、ひとり親家庭などの社会福祉団体(視察や研修への利用に限る)。利用回数／1団体につき年2回まで。10月分抽選会／4月1日(月)。時間／11時。場所／西庁舎1階会議室。同社会福祉課 ☎(42)4250

人口・火災

3月1日現在の綾部市の推計人口は30356人(男14571、女15785)。世帯数は13737世帯です。同日現在の火災発生件数は2件(建物2件)です。

家庭ごみの処理量

2月の燃やして処理するごみは360ト(前年比1.6割増)、燃やさないで処理するごみは74ト(同64.5割増)でした。

募集

ふるさと納税「返礼品」

市は、ふるさと納税の返礼品を募集しています。事業者にとっては新たな販路開拓なども期待できます。まずは一度ご相談ください。登録要件／市内に事業所がある企業や団体、個人事業者。市内で生産・製造している商品や市内の原材料を使用している商品、サービスを提供しているもの。お礼品例／野菜や肉など。日用品や工芸品、食事券、体験型のサービスなども登録できます。同企画政策課 ☎(42)4214

春を体感！里山ハイキング

春の行楽シーズンは、日帰りで楽しめるハイキングに行こう！綾部の自然や歴史、文

化を感じながら歩くさまざまなコースがあります。ぜひご参加ください。古代ロマン香る久田山から桜巡りと絶景の高城ハコース／花見スポット・春の高城山山頂に咲くサクラと眼下に広がる景色を楽しむ約8キロ。トレーニング初級者向け。日時／4月7日(日)10時～15時ごろ。集合場所／清山荘駐車場(里町)。参加費／2000円。最小催行人数／5人。定員／12人。早春の光野峠光野から市志ハコース／水源の里の豊かな自然を巡る約6キロ。トレーニング中級者向け。日時／4月13日(土)9時30分～15時ごろ。集合場所／光野公民館(光野町)。参加費／3000円。最小催行人数／5人。定員／12人。新緑の釈杖ヶ岳ハコース／市街地の風景や自然を楽しむながら低山を歩く約6キロ。トレーニング初級者向け。日時／5月5日(日)祝10時～14時ごろ。集合場所／紫水ヶ丘公園第2駐車場(味方町)。参加費／2000円。最小催行人数／5人。定員／12人。「春の安国寺拝観」と「仏像

リフォームから新築まで 住まいのごとご相談ください 住まいのお医者さん リフォームショップ koh TEL.0773-40-2088 綾部市西町2丁目52-15

地域元氣宣言の 京都北都信用金庫 ほととしまん WEB完結ローン ①スマホで！PCでも！いつでも申込OK!! ②来店不要! ③契約書記入・押印不要(ペーパーレス) 綾部中央支店 TEL.0773(42)0380 西町支店 TEL.0773(42)1080 中筋支店 TEL.0773(42)7788

AIにできない 真心の仕事 一緒に実感しませんか? 急募!! 生活支援員(障害者施設) 夜勤専従職員(グループホーム) 詳細は、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会HPで いのいの村聴覚言語障害センター 綾部市十倉畑町久瀬谷2番地 TEL.(0773)46-0101 FAX.(0773)46-0610 総務課

シルバ=人材センターです いろいろなお仕事をしています 除草・剪定・草刈り、庭木の剪定 密着.....大工仕事(修理・補修)、障子・襖・網戸張替 軽作業.....清掃、不用品等運搬、軽作業全般 家事援助.....ゴミ出し、掃除、買い物、話し相手 お仕事一例 その他のお仕事も、ご相談ください お問合せ 公益社団法人綾部市シルバ=人材センター 〒623-0053 綾部市宮代町明細11番4 ホームページ https://www.sjc.ne.jp/ayabe/ 会員募集 ~入会説明会~ 開催/毎月第2・第4火曜日 時間/午後1時30分~3時 場所/綾部市シルバ=人材センター センターホームページから入会申込の登録が出来ます。 初年度会費無料





指で「30」「40」のポーズをつくって記念撮影する参加者ら。関東地方など遠方からの参加もありました



30歳を代表してスピーチする久馬悠さん。「人とのつながりを大切に、30代を歩んでいきたい」と語りました



あやべ地域交流大使・シャンプーハットてつじさんが今年も会場に駆け付け、参加者とのトークなどで式典を盛り上げました



## 同級生とのつながり深める

さん まる よん まる

# あやべ3040成人式

さんまるよんまる

「あやべ3040成人式」が2月24日、青野町のあやテラス・ホールで開催されました。本年度に30・40歳になる本市出身者などにU・Iターンを考えてもらう機会にと、実行委員会（高橋孝明委員長）が昨年度に続き企画。市内外から総勢41人が集い、同級生との再会を楽しみました。今回の情報すくらんぶるは、人生の節目を迎えた参加者に、今後の抱負や綾部市への思いを聞きました。（カッコ内は出身地または在住地）

新しく前に向かって  
進み続ける綾部市で  
あってほしい！



久馬悠さん（青野町）

## 30歳

いつ帰っても、  
ホッとする  
ふるさとであって  
ほしいです

障害者福祉といえば  
「綾部市」といわれる  
まちにしたい！

## 40歳



久馬憲さん（寺町）

移住者が増え、  
綾部市がもっと  
にぎやかになれば！



永田萌さん（青野町）

こうき  
渡邊皓規さん（十倉中町）

2回目の成人式。ここからまた  
新しいスタートを切りたい！



大用由美さん（忠町）

岡部未佳さん（味方町）